

～校長室から～

平間だより (1号)

読者のみなさま、こんにちは。この平間だよりでは、学校や生徒の様子を紹介したり、私が日ごろ感じていることなどをお伝えしていこうと思います。

第1号の今回は、私の身の回りに起きた最近の出来事をいくつか紹介させていただきます。

はっとする光景

先日、いつものように JR 南武線平間駅にて下車し、学校へ向かう平間商店街を歩いていると、15m ほど先を本校の野球部の生徒が歩いているのが見えた。その生徒は、時おり路上から何かを拾っていた。はじめは遠かったため、何を拾っているのか分からなかったが、少し近づくと、「?・・!!」。路上に落ちている紙くずなどを拾っていることが分かった。もちろん、私が見ていることなど知らない。

野球部は、部活動の一環として、地域の清掃活動を行っている。今回の行動、自主的な行動は、そのような活動の意味を理解し、自らの行動規範として身につけたものだ。部活動の顧問の指導の賜物であり、本人の成長の証だ。学校の責任者として、こんなにうれしいことはない。その日だけではなく、これから先も私の心の支えになる出来事であった。生徒と職員に助けられる毎日。

渋柿の変身

本校敷地内は緑が豊かで、四季を通じて職員や生徒を楽しませてくれる。秋には、柿、銀杏が採れる。先日、アウトドア部の部長が私の部屋に柿を届けてくれた。美味しそうに色づいた柿の入った袋にメッセージが添えられていた。

アウトドア部で中庭で柿をとりました。渋みを抜いたので甘いと思います。これからもアウトドア部をよろしくお願いします!

11月14日(木) アウトドア部部长

部員一同

事務所にも届けられていたので、私がいただいたものは家に持ってかえり、家族と一緒に賞味した。「甘い!」予想以上に甘い。子どもだったころ、今年

3月に他界した母が毎年秋になると渋抜きをした柿を食べさせてくれた。なつかしい味がした。ありがとう。

中庭ハートフルコンサート

本校吹奏楽部は、定期的に昼休みの時間を利用して「中庭コンサート」を開いてくれる。先月も、寒風が吹く中で、3年生が引退してさらに少なくなったメンバーで、顧問の先生と一緒に一生懸命演奏してくれた。在校生や職員もたくさん集まり、みんなで演奏を楽しんだ。応援した。風は冷たかったが、みなこころは暖かかったにちがいない。音楽に国境は無い。そのパワーを身につけたメンバーのひたむきさは、きっとこれからの人生を切り開いてくれる。部員が増えることを祈る。これからもがんばって。

怠けが大の得意な私。本校最寄り駅の JR 南武線の平間駅にちなんだ、この「平間だより」第1号は、今年で最初で最後になってしまいました。来年はもう少し頑張ります。

みなさま、よいお年をお迎えください。

2013年 師走
角田